

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	無期限
主投資対象	親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」を主要投資対象とします。
運用方針	<p>①投資にあたっては、主として「しんきんアジアETF株式マザーファンド」(以下、マザーファンドといいます。)の受益証券への投資を通じ、原則として以下の方針に基づき運用を行います。</p> <p>1) 国内外の金融商品取引所に上場している投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下「上場投資信託証券」といいます。)への投資を通じ、主にアジア各国(日本を除く)の株式に分散投資を行います。</p> <p>2) 投資対象となる上場投資信託証券の国別投資比率および銘柄選定にあたっては、市場規模、市場動向ならびに成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④市場動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主投資制限	<p>①マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②マザーファンドを通じて投資を行う上場投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③マザーファンドを通じて投資を行う同一銘柄の上場投資信託証券への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の50%を超えないものとします。</p> <p>④外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
収益分配方針	<p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は委託者が基準価額等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
 <コールセンター> ☎ 0120-781812
 (土日、休日を除く) 携帯電話・PHSからは03-5524-8181
 9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

運用報告書(全体版)

しんきん アジアETF株式ファンド

愛称：情熱アジア大陸

決算日

(第21期：2021年11月22日)


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんアジアETF株式ファンド」(愛称：情熱アジア大陸)は2021年11月22日に第21期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきんアジアETF株式ファンド	頁
最近5期の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
第21期の運用経過等	2
1万口当たりの費用明細	5
売買及び取引の状況	7
利害関係人との取引状況等	7
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	7
自社による当ファンドの設定・解約状況	7
組入資産の明細	7
投資信託財産の構成	8
資産、負債、元本及び基準価額の状況	8
損益の状況	8
分配金のお知らせ	9
◇親投資信託の運用報告書	
しんきんアジアETF株式マザーファンド	10

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率		
17期(2019年11月20日)	円 9,462		円 0	% 4.4	% 96.9	百万円 1,754
18期(2020年5月20日)	7,925		0	△16.2	97.0	1,547
19期(2020年11月20日)	9,817		0	23.9	96.6	1,948
20期(2021年5月20日)	10,009		1,540	17.6	97.5	1,732
21期(2021年11月22日)	10,004		480	4.7	94.4	2,100

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券（上場投資信託）の組入比率は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドは、上場投資信託を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

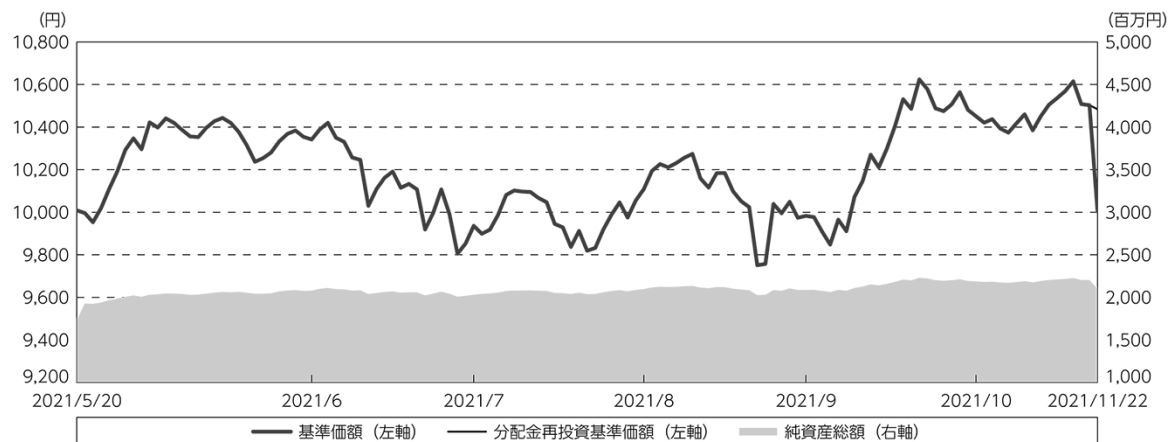
年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2021年5月20日	円 10,009		% —	% 97.5
5月末	10,347		3.4	97.3
6月末	10,342		3.3	98.1
7月末	9,936		△0.7	98.4
8月末	10,109		1.0	98.4
9月末	9,983		△0.3	98.1
10月末	10,451		4.4	98.8
(期 末) 2021年11月22日	10,484		4.7	94.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券（上場投資信託）の組入比率は実質比率を記載しています。

○第21期の運用経過等（2021年5月21日～2021年11月22日）

<当期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」を通じて、高い成長が期待されるアジア(日本を除く)各国の株式を対象とする上場投資信託(ETF)へ投資を行っています。

当期は、主に為替要因により、基準価額は上昇しました。当期の基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第20期末基準価額			10,009円
要因	ETF	キャピタル	22円
		インカム	86円
	為替		430円
	小計		538円
分配金			△480円
その他変動要因(信託報酬含む)			△63円
第21期末基準価額			10,004円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは市場変動等によるETF価格の上下動に伴う売買損益(評価損益を含む)、インカムとは配当等による収益です。

<上昇要因>

- ・米国の過度な金融引締め懸念が和らいだこと。
- ・アジアにおける新型コロナウイルスの新規感染者数が相対的に減少傾向となったこと。

<下落要因>

- ・中国の政策リスクが高まったこと。
- ・新型コロナウイルスの変異株の感染が世界的に急拡大したこと。

<投資環境>

(株式市況：アジア圏)

当期のアジア株式市場は、全体として下落しました。

2021年7月末にかけては、中国当局によるテクノロジー関連企業などへの規制強化、学習塾の非営利団体化の規制案の発表など中国の政策リスクが高まったことや、変異株の感染が世界的に急拡大したことなどを背景に、下落しました。

8月には、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長による講演を受け、米国の金融引締め懸念が和らいだことなどから、上昇する局面もあったものの、9月に中国の不動産開発大手の中国恒大集団の経営不安が広がったことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）で、2022年中にゼロ金利政策を解除する見通しが示され、米国長期金利が上昇したことなどを背景に、軟調な動きとなるなど、期を通じて下落しました。

なお、期首から期末までの投資対象である11の国・地域別の株価の動きは、香港、韓国、中国、マレーシアは軟調でしたが、その他の国は堅調となりました。

(為替市況：アジア圏)

当期のアジア通貨の対円為替相場については、全体として上昇しました。

アジアにおける新型コロナウイルスの新規感染者数の相対的な減少傾向などや、世界景気の回復基調が継続するとの期待感などを背景に、期を通じては、総じてアジア通貨高円安方向に進みました。

<当ファンドのポートフォリオ>

親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、期を通じて、組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきんアジアETF株式マザーファンド

中国、香港、台湾、インド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンおよびベトナムの11の国・地域へ投資しました。各国・地域への投資割合については、株式市場の規模などを考慮して、基準割合を決定しました。

当期における11の国・地域の基準割合については、期首はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6.0%、インドネシア6.5%、タイ8.0%、フィリピン3.5%およびベトナム3.5%としました。

これらの基準割合に基づき、月次で投資対象国・地域の景気、市場動向および政情などの観点からの分析による見直しを行い、それぞれの国・地域の株式組入比率を基準割合から±1%程度で調整しました。

当期における国・地域の主な比率調整では、期を通じて、ベトナムの組入比率を基準割合よりも高めに推移させました。その他の地域の組入比率については、2021年6月に香港を引き上げ、タイを引き下げ、10月にインドを引き上げ、中国を引き下げるなどの調整を行いました。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは、E T F への投資を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

<分配金>

当期の収益分配金については、経費控除後の配当等収益や売買益、基準価額水準等を勘案して、1 万口当たり480円（税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1 万口当たり、税込み）

項 目	第21期
	2021年5月21日～ 2021年11月22日
当期分配金	480
（対基準価額比率）	4.578%
当期の収益	446
当期の収益以外	33
翌期繰越分配対象額	756

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

主として、親投資信託である「しんきんアジアE T F 株式マザーファンド」の受益証券に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

●しんきんアジアE T F 株式マザーファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、E T F への投資を通じ、高い成長性が期待されているアジア主要市場の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、E T F の組入比率は原則として高位を保つこととし、各E T F の組入比率などについて、調整および変更等が必要な場合は随時行っていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年5月21日～2021年11月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 60	% 0.589	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(23)	(0.224)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.336)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.172	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(17)	(0.172)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.007	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0.007)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.041	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	82	0.809	
期中の平均基準価額は、10,194円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

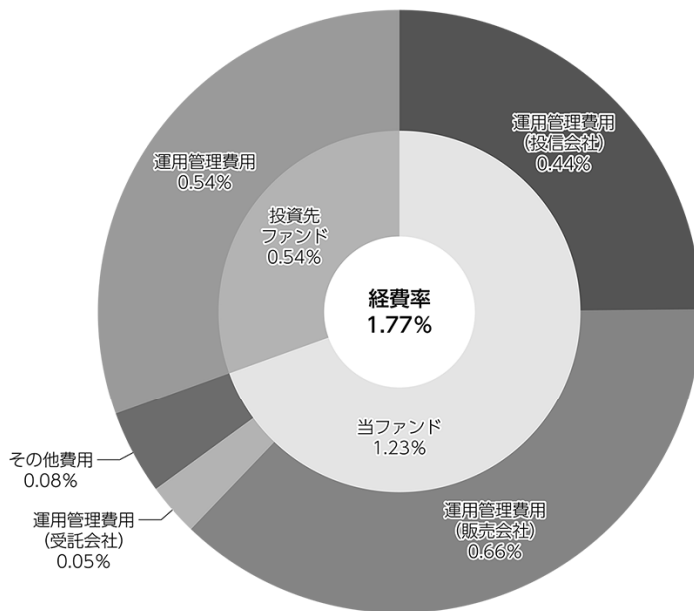
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.77%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.77
①当ファンドの費用の比率	1.23
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年5月21日～2021年11月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきんアジアETF株式マザーファンド	千口 183,688	千円 384,200	千口 61,851	千円 135,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年5月21日～2021年11月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年5月21日～2021年11月22日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年5月21日～2021年11月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年11月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきんアジアETF株式マザーファンド	千口 821,699	千口 943,537	千円 2,063,516

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年11月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきんアジアETF株式マザーファンド	2,063,516	93.1
コール・ローン等、その他	152,579	6.9
投資信託財産総額	2,216,095	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきんアジアETF株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,985,923千円)の投資信託財産総額(2,188,497千円)に対する比率は90.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2021年11月22日現在、1ドル=114.10円、1香港ドル=14.65円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,216,095,223
コール・ローン等	27,578,230
しんきんアジアETF株式マザーファンド(評価額)	2,063,516,993
未収入金	125,000,000
(B) 負債	115,694,003
未払収益分配金	100,783,261
未払解約金	2,615,116
未払信託報酬	12,295,263
未払利息	45
その他未払費用	318
(C) 純資産総額(A-B)	2,100,401,220
元本	2,099,651,280
次期繰越損益金	749,940
(D) 受益権総口数	2,099,651,280口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,004円

(注1) 当ファンドの期首元本額は1,730,668,677円、期中追加設定元本額は507,051,311円、期中一部解約元本額は138,068,708円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1.0004円です。

○損益の状況 (2021年5月21日～2021年11月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 10,849
支払利息	△ 10,849
(B) 有価証券売買損益	106,046,306
売買益	108,690,629
売買損	△ 2,644,323
(C) 信託報酬等	△ 12,296,909
(D) 当期損益金(A+B+C)	93,738,548
(E) 前期繰越損益金	46,456,915
(F) 追加信託差損益金	△ 38,662,262
(配当等相当額)	(118,596,009)
(売買損益相当額)	(△157,258,271)
(G) 計(D+E+F)	101,533,201
(H) 収益分配金	△100,783,261
次期繰越損益金(G+H)	749,940
追加信託差損益金	△ 38,662,262
(配当等相当額)	(119,335,265)
(売買損益相当額)	(△157,997,527)
分配準備積立金	39,412,202

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,381,702円)、費用控除後の有価証券等損益額(80,356,846円)、信託約款に規定する収益調整金(119,335,265円)および分配準備積立金(46,456,915円)より分配対象収益は259,530,728円(10,000口当たり1,236円)であり、うち100,783,261円(10,000口当たり480円)を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	480円
------------------	------

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

(注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金(特別分配金)」、残りの部分が「普通分配金」となります。

(注2) 個人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率が適用されます。

(注3) 法人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、15.315%(所得税15%および復興特別所得税0.315%)が源泉徴収されます。

(注4) 当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA(ニーサ)」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

(注5) 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

運用報告書

親投資信託

しんきんアジアETF株式マザーファンド

第11期

(決算日：2021年11月22日)

しんきんアジアETF株式マザーファンドの第11期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	国内外の金融商品取引所に上場している投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下「上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方針	①上場投資信託証券への投資を通じ、主にアジア各国（日本を除く）の株式に分散投資を行います。 ②投資対象となる上場投資信託証券の国別投資比率および銘柄選定にあたっては、市場規模、市場動向並びに成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④市場動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
投資制限	①上場投資信託証券、短期社債等（社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）第66条第1号に規定する短期社債、同法第117条に規定する相互会社の社債、同法第118条に規定する特定社債および同法第120条に規定する特別法人債をいいます。）、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②上場投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の上場投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の50%を超えないものとします。 ④外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 中 率		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率	託 券 率	純 資 産 額
		騰	落				
	円		%			%	百万円
7期(2017年11月20日)	17,255		30.5			97.6	1,588
8期(2018年11月20日)	15,577	△	9.7			97.6	1,645
9期(2019年11月20日)	16,694		7.2			97.9	1,737
10期(2020年11月20日)	17,525		5.0			97.1	1,938
11期(2021年11月22日)	21,870		24.8			96.1	2,063

(注) 当ファンドは、上場投資信託を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは運動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。(以下同じ。)

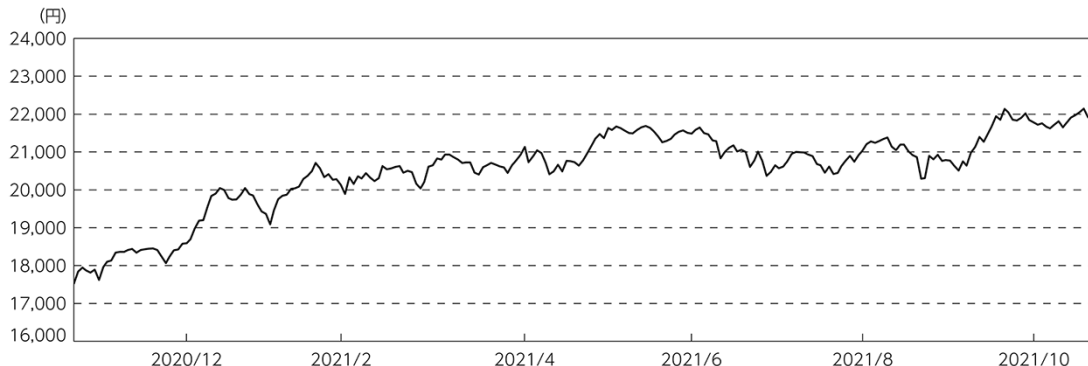
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 証 組 入 比 率	託 券 率
		騰	落		
(期 首) 2020年11月20日	円 17,525		% -		% 97.1
11月末	17,890			2.1	95.6
12月末	18,592			6.1	98.7
2021年1月末	19,366			10.5	98.7
2月末	20,137			14.9	98.8
3月末	20,831			18.9	98.9
4月末	21,129			20.6	99.0
5月末	21,472			22.5	98.5
6月末	21,482			22.6	98.8
7月末	20,649			17.8	99.0
8月末	21,031			20.0	98.9
9月末	20,787			18.6	98.4
10月末	21,783			24.3	99.1
(期 末) 2021年11月22日	21,870			24.8	96.1

(注) 騰落率は期首比。

○第11期の運用経過等（2020年11月21日～2021年11月22日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、高い成長が期待されるアジア（日本を除く）各国の株式を対象とする上場投資信託（ETF）へ投資を行っています。

当期は、為替要因と組み入れたETFの値上がりを主な要因に、基準価額は上昇して終わりました。当期の基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・新型コロナウイルスのワクチン普及期待が高まったこと。
- ・米国で民主党が大統領と上下両院の過半数を押さえるトリプルブルーとなり、大型の追加経済対策が実施されるとの期待感が高まったこと。
- ・米国の過度な金融引締め懸念が和らいだこと。
- ・アジアにおける新型コロナウイルスの新規感染者数が相対的に減少傾向となったこと。

＜下落要因＞

- ・中国全人代において財政政策や金融政策の正常化が示唆されたこと。
- ・米国でインフレが加速するとの懸念から、米国金利が上昇したこと。
- ・中国の政策リスクが高まったこと。
- ・新型コロナウイルスの変異株の感染が世界的に急拡大したこと。

＜投資環境＞

（株式市況：アジア圏）

当期のアジア株式市場は、全体として上昇しました。

2020年12月末にかけては、英国でワクチン接種が始まったことを受け、世界的な経済活動の正常化への期待が高まったことや、英国の欧州連合（EU）離脱をめぐる通商協議が合意に至ったことや米国追加経済対策法案が成立したことなどを背景に、上昇しました。

2021年1月は、米国で民主党が大統領と上下両院の過半数を押さえるトリプルブルーとなり、大型の追加経済対策が実施されるとの期待感や、ワクチン普及の期待などを背景に、上昇しました。2月以降は、米中外交

トップ会談において非難の応酬が繰り返されたことや、中国全人代において財政政策や金融政策の正常化が示唆されたこと、米国金利の上昇など強弱材料の混在する中、軟調な局面はあったものの底堅く推移する一方、7月末にかけては、中国当局によるテクノロジー関連企業などへの規制強化、学習塾の非営利団体化の規制案の発表など中国の政策リスクが高まったことや、変異株の感染が世界的に急拡大したことなどを背景に、下落しました。

8月には、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長による講演を受け、米国の金融引締め懸念が和らいだことなどから、上昇する局面もあったものの、9月に中国の不動産開発大手の中国恒大集団の経営不安が広がったことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）で、2022年中にゼロ金利政策を解除する見通しが示され、米国長期金利が上昇したことなどを背景に、軟調な動きとなりましたが、期を通じては上昇しました。

なお、期首から期末までの投資対象である11の国・地域別の株価の動きは、マレーシアは軟調でしたが、その他の国は堅調となりました。

（為替市況：アジア圏）

当期のアジア通貨の対円為替相場については、全体として上昇しました。

世界景気の回復基調が継続するとの期待感などを背景に、期を通じては、総じてアジア通貨高円安方向に進みました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

中国、香港、台湾、インド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンおよびベトナムの11の国・地域へ投資しました。各国・地域への投資割合については、株式市場の規模などを考慮して、基準割合を決定しました。

当期における11の国・地域の基準割合については、期首はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6.5%、インドネシア6.5%、タイ7.5%、フィリピン4.0%およびベトナム3.0%としました。

2021年5月以降はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6.0%、インドネシア6.5%、タイ8.0%、フィリピン3.5%およびベトナム3.5%としました。

これらの基準割合に基づき、月次で投資対象国・地域の景気、市場動向および政情などの観点からの分析による見直しを行い、それぞれの国・地域の株式組入比率を基準割合から±1%程度で調整しました。

当期における国・地域の主な比率調整では、期を通じて、ベトナムの組入比率を基準割合よりも高めに推移させました。その他の地域の組入比率については、2021年6月に香港を引き上げ、タイを引き下げ、10月にインドを引き上げ、中国を引き下げるなどの調整を行いました。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当ファンドは、ETFへの投資を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、ETFへの投資を通じ、高い成長性が期待されているアジア主要市場の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、ETFの組入比率は、原則として高位を保つこととし、各ETFの組入比率などについて、調整および変更等が必要な場合は随時行っていきます。

○1万口当たりの費用明細

(2020年11月21日～2021年11月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 50 (50)	% 0.243 (0.243)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	2 (2)	0.010 (0.010)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	14 (14) (0)	0.068 (0.067) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	66	0.321	
期中の平均基準価額は、20,429円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2020年11月21日～2021年11月22日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ		千ドル		千ドル
	iShares MSCI Indonesia ETF	—	—	23,800	524
	iShares MSCI Philippines ETF	9,200	270	22,800	684
	iShares MSCI Hong Kong ETF	33,600	897	30,500	794
	iShares MSCI Malaysia ETF	18,400	493	40,000	1,066
	iShares MSCI Singapore ETF	14,500	338	54,800	1,266
	iShares MSCI Taiwan ETF	4,300	261	32,800	2,031
	iShares MSCI South Korea ETF	6,300	563	23,600	2,033
	iShares MSCI India Index ETF	33,500	367	183,300	2,093
	Xtrackers MSCI Singapore UCITS ETF	450,000	709	43,300	68
	iShares MSCI Thailand ETF	6,000	471	16,500	1,291
	Xtrackers MSCI Malaysia UCITS ETF	50,000	566	1,900	20
	Xtrackers MSCI Thailand UCITS ETF	28,300	670	2,500	59
	Xtrackers MSCI India Swap UCITS ETF	69,000	1,180	5,400	95
	Xtrackers MSCI Korea UCITS ETF	13,700	1,371	1,500	137
	Xtrackers MSCI Indonesia Swap UCITS ETF	37,400	500	7,700	117
	Xtrackers MSCI Taiwan UCITS ETF	22,600	1,298	3,000	175
	Xtrackers MSCI Philippines UCITS ETF	190,000	328	25,400	46
	小 計	986,800	10,291	518,800	12,508
国	香港		千香港ドル		千香港ドル
	iShares Core CSI 300 ETF	339,800	13,436	184,500	7,324
	Xtrackers CSI300 Swap UCITS ETF	219,000	2,669	147,000	1,851
	Xtrackers FTSE Vietnam Swap UCITS ETF	8,100	2,611	(834,600)	(9,522)
	Xtrackers FTSE Vietnam Swap UCITS ETF	8,100	2,611	14,780	4,442
小 計	566,900	18,717	346,280	13,619	
			(834,600)	(9,522)	

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年11月21日～2021年11月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年11月22日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%	
iShares MSCI Indonesia ETF	48,000	24,200	573	65,413	3.2	
iShares MSCI Philippines ETF	22,900	9,300	300	34,253	1.7	
iShares MSCI Hong Kong ETF	90,000	93,100	2,277	259,831	12.6	
iShares MSCI Malaysia ETF	42,300	20,700	520	59,424	2.9	
iShares MSCI Singapore ETF	65,600	25,300	599	68,444	3.3	
iShares MSCI Taiwan ETF	45,900	17,400	1,151	131,429	6.4	
iShares MSCI South Korea ETF	31,600	14,300	1,121	127,968	6.2	
iShares MSCI India Index ETF	239,000	89,200	1,123	128,137	6.2	
Xtrackers MSCI Singapore UCITS ETF	—	406,700	647	73,829	3.6	
iShares MSCI Thailand ETF	18,300	7,800	608	69,462	3.4	
Xtrackers MSCI Malaysia UCITS ETF	—	48,100	523	59,752	2.9	
Xtrackers MSCI Thailand UCITS ETF	—	25,800	611	69,819	3.4	
Xtrackers MSCI India Swap UCITS ETF	—	63,600	1,116	127,337	6.2	
Xtrackers MSCI Korea UCITS ETF	—	12,200	1,122	128,065	6.2	
Xtrackers MSCI Indonesia Swap UCITS ETF	8,400	38,100	577	65,947	3.2	
Xtrackers MSCI Taiwan UCITS ETF	—	19,600	1,155	131,788	6.4	
Xtrackers MSCI Philippines UCITS ETF	—	164,600	300	34,256	1.7	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,086,300	1,080,000	14,330	1,635,163	
	銘 柄 数 < 比 率 >	10	17	—	< 79.2% >	
(香港)			千香港ドル			
iShares Core CSI 300 ETF	300,000	455,300	17,738	259,868	12.6	
Xtrackers CSI300 Swap UCITS ETF	762,600	—	—	—	—	
Xtrackers FTSE Vietnam Swap UCITS ETF	23,700	17,020	6,042	88,516	4.3	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,086,300	472,320	23,780	348,385	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	2	—	< 16.9% >	
合 計	口 数 ・ 金 額	1,698,300	1,552,320	—	1,983,548	
	銘 柄 数 < 比 率 >	13	19	—	< 96.1% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

<組入上位ETFの保有銘柄の明細>

※BlackRock Inc.およびDWS Investment作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

iShares Core CSI 300 ETF

組入上位10銘柄 (2020年12月末現在)

(組入銘柄数 300銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	KWEICHOW MOUTAI LTD A	5.1
2	PING AN INSURANCE (GROUP) OF CHINA	4.8
3	WULIANGYE YIBIN LTD A	2.9
4	CHINA MERCHANTS BANK LTD A	2.8
5	MIDEA GROUP LTD A	2.5
6	JIANGSU HENGRUI MEDICINE LTD A	2.1
7	INDUSTRIAL BANK LTD A	1.6
8	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC OF ZHUHAI	1.5
9	CHINA TOURISM GROUP DUTY FREE CORP	1.4
10	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP	1.4

iShares MSCI Hong Kong ETF

組入上位10銘柄 (2021年8月末現在)

(組入銘柄数 37銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	AIA GROUP LTD	21.3
2	HONG KONG EXCHANGES AND CLEARING LTD	14.9
3	TECHTRONIC INDUSTRIES CO. LTD	6.0
4	SUN HUNG KAI PROPERTIES LTD	3.9
5	LINK REIT	3.7
6	CK HUTCHISON HOLDINGS LTD	3.7
7	HONG KONG AND CHINA GAS CO. LTD	3.6
8	CLP HOLDINGS LTD	3.3
9	CK ASSET HOLDINGS LTD	2.8
10	GALAXY ENTERTAINMENT GROUP LTD	2.7

Xtrackers MSCI Taiwan UCITS ETF

組入上位10銘柄 (2020年12月末現在)

(組入銘柄数 87銘柄)

	銘柄名	比率 (%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO. LTD	31.33
2	HON HAI PRECISION INDUSTRY CO. LTD	5.19
3	MEDIATEK INC	5.09
4	UNITED MICROELECTRONICS CORP	2.48
5	DELTA ELECTRONICS INC.	2.32
6	CHUNGHWA TELECOM CO. LTD	1.87
7	NAN YA PLASTICS CORP.	1.68
8	FORMOSA PLASTICS CORP.	1.66
9	CIA PARANAENSE DE ENERGIA-PREF	1.56
10	CATHAY FINANCIAL HOLDINGS CO. LTD	1.51

○投資信託財産の構成

(2021年11月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,983,548	90.6
コール・ローン等、その他	204,949	9.4
投資信託財産総額	2,188,497	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (1,985,923千円) の投資信託財産総額 (2,188,497千円) に対する比率は90.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2021年11月22日現在、1ドル=114.10円、1香港ドル=14.65円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年11月22日現在)

○損益の状況 (2020年11月21日～2021年11月22日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,188,497,646
コール・ローン等	202,619,465
投資信託受益証券(評価額)	1,983,548,874
未収配当金	2,329,307
(B) 負債	125,000,586
未払解約金	125,000,000
未払利息	336
その他未払費用	250
(C) 純資産総額(A-B)	2,063,497,060
元本	943,537,720
次期繰越損益金	1,119,959,340
(D) 受益権総口数	943,537,720口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,870円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	26,821,268
受取配当金	26,845,106
支払利息	△ 23,838
(B) 有価証券売買損益	401,399,525
売買益	438,074,328
売買損	△ 36,674,803
(C) 保管費用等	△ 1,333,716
(D) 当期損益金(A+B+C)	426,887,077
(E) 前期繰越損益金	832,142,636
(F) 追加信託差損益金	238,285,945
(G) 解約差損益金	△ 377,356,318
(H) 計(D+E+F+G)	1,119,959,340
次期繰越損益金(H)	1,119,959,340

(注1) 当親投資信託の期首元本額は1,105,867,347円、期中追加設定元本額は220,914,055円、期中一部解約元本額は383,243,682円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、しんきんアジアETF株式マザーファンド943,537,720円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2.1870円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。